



私たちアポログループは、「エネルギー」と「家づくり」を通して、福島再生可能エネルギー自給率 100% を目指しています。

台湾エネルギー界を変えた スクーターブランド<gogoro>

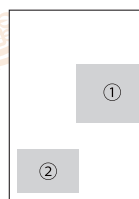
台湾を席巻する電動スクーターブランド<gogoro>。デザイン性の高いクールな外見が人気。が、実の姿はバッテリーステーションを1万5000個提供するスマートエネルギー企業だ。8年足らずで台湾全土の8割をカバーし、3キロ圏内 or 5分以内にはgogoroステーションに出会うという普及率。地球を救うエコ関連は急がないと意味がない。電動で動くすべてのものに電源を供給するインフラになる、それをゴールに今日も凄まじいスピードで進化し続けている。



MIYUKI HARA
環境雑誌『ZERO CHRONICLE』ライター兼カメラマン。取材で得た世界のエネルギー&エコ情報をセッカドーム読者のみなさまにお届けします！



農を地域で支える新たな仕組み CSAに挑む福島県有機農業ネットワーク



写真①：<gogoro>の電源ステーションは見た目もクール。台湾のいたるところに設置してあります。

写真②：会員を募り、会津地方と中通りを中心に、毎週野菜が届けられています（写真はイメージ）。

「CSA」という、新しい農業の形が世界で注目を浴びている。コミュニティ・サポーターズ・アグリカルチャーの略で「地域に支えられた農業」を意味する。消費者が、農家へ前もって代金を払い、その資金を元に農家が作物を育てる。天候などに際しての収穫量の上限も含めたりリスクを共に背負い、

生産者を支えることで、消費者は継続的に新鮮な作物を手にすることができる仕組みだ。福島県内では「福島県有機農業ネットワーク」が、取り組みを始めている。小規模ながら未来を見据え、チャレンジを続ける、彼らの取り組みに注目して頂きたい。



木下真理子
編集者・カメラマン
福島県内で発行のフリーマガジンの編集長を7年務める。編集者の経験を生かした独自の視点で写真撮影・カメラレッスンをおこなう。

RE-BRANDING
VERSION VOL.200
MAR. 2020

アポロニュース

アポログループは、これからも皆さんと一緒に笑って暮らしていく



せっかくどうも誌は 1986 年 9 月から創刊され、今年で 34 年を迎えます。今回の 200 号より全面リニューアルしました！

これからは毎月発行いたします！

「特集」、「地域情報」、「アポログループ情報」など充実したコンテンツになっており、身近な地域情報だけではなく、海外の情報もお届けいたします。読者の皆様、次号もお楽しみに♪



私たちアポログループは 100 周年まで目指す姿として「ビジョン 100 ふくしまで笑おう」を掲げ、地元福島にどうやって笑いを届けていくのか、人、暮らし、健康、仕事をテーマに「笑いの戦略」を示し、取り組んでいます。私たちアポログループは皆様とともに笑って暮らしていける企業を目指します！

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

福島が笑えば世界が笑う

アポログループのスタッフ紹介

1. 部署と氏名
2. 最近ハマっていること
3. お客様へのメッセージ



さがら もとあき

1. 代表取締役社長／相良 元章
2. 子どもたちと近所サイクリング
3. 「福島が笑えば、世界が笑う！」これからも笑いでお客様に HAPPY を届けます！



さとう なおひろ

1. 常務執行役員／佐藤 直弘
2. 旨くてチョー痺れる担々麺探し
3. 「住まい」と「エネルギー」はアポログループにお任せを！笑顔あふれる社員が、いつでもおもてなし致します！



みうら ゆうこ

1. ほっとリビング／三浦 結子
2. 紅茶をいれること
3. お客様第一の対応を心がけて頑張ります。よろしくお願いします。



ご

1. 経営企画担当／呉 ショウシン
2. スマホで絵を描くこと
3. 福島の良いところを世界中の人に伝えていきたいです！

私たちアポログループのクリアファイルリユースプロジェクト：



プラスチックがもたらす環境へのダメージを考え、私たちアポログループは「クリアファイルの再利用」を積極的に行っています。家や職場に大量にあるクリアファイルの回収と再利用に取り組んでいます。使っていないクリアファイルはぜひアポログループまでお持ちください！



LINE 友だち限定のお得な情報を発信中



お友だち登録お待ちしております！

<http://www.apollogas.co.jp>